

2017年7月18日

お客様各位

アセットマネジメントOne株式会社

**「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」  
の主要投資対象外国投資信託における投資方針の一部変更について**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社ファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が運用する「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<sup>(\*)</sup>」(以下、「当ファンド」といいます。)の主要投資対象であるケイマン籍円建外国投資信託「ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド」(以下、「外国投資信託」といいます。)につきまして、運用のさらなる効率化を図るため、下記の通り、投資方針の一部変更が予定されておりますので、お知らせいたします。

なお、このたびの変更に伴う受益者の皆様に関わるお手続きはございません。また、当ファンドのお買付けのお申込みをご検討中の投資家の皆様におかれましては、このたびの変更をお含み置きのうえ、お申込みいただきますようお願い申し上げます。

お客様におかれましては、このたびの変更につきまして何卒ご理解いただき、今後とも弊社ファンドをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

(\*)世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <円コース>、同 <豪ドルコース>、同 <ブラジルレアルコース>、同 <中国元コース>を総称して、「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」といえます。

敬具

記

1. 変更の内容

外国投資信託の投資方針

変更後	変更前
原則として、ファンドの純資産総額に対する1発行体当たりの有価証券の時価総額の割合は4%以内とし、 <u>発行体に対する信用リスクの分散を図ります。</u>	原則として、ファンドの純資産総額に対する1発行体当たりの有価証券の時価総額の割合は4%以内とします。また、 <u>ファンドに組入れる発行体数は40発行体以上を基本とします。</u>

2. 変更の理由

当ファンドは、外国投資信託への投資を通じて、主として先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に実質的に投資を行い、発行体、国、通貨、格付け等の分散を考慮しつつ、運用を行っております。足元、当ファンドの純資産総額が減少しており、外国投資信託においては、40発行体以上への分散投資を維持するために、1銘柄当たりの投資金額が少額となる銘柄が増加する傾向にあります。少額銘柄の保有および売買は、当ファンドの流動性やパフォーマンス等に望ましくない影響を与える可能性があるとの判断から、今後、徐々に銘柄を集約し、1銘柄当たりの投資金額を増やすことにより、運用のさらなる効率化を図ることとなりました<sup>(\*\*)</sup>。このため、外国投資信託に組入れる発行体数について40発行体以上を基本とする投資方針の一部を変更することとなりました。

なお、今次変更後も、上記以外の投資方針に変更はなく、引き続き、分散を意識した運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることに努めてまいります。

(\*\*)ファンドの資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

3. 変更日(予定)

2017年7月24日

以上